

鹿児島大学混声合唱団ポリフォニー・コール 創立60周年記念合唱団演奏会

J・ブラームス

ドイツ・レクイエム Op.45

愛唱歌集

2013年8月11日(日)
宝山ホール

開 場●13:30／開 演●14:00

指 握●キンボー・イシイ=エトウ

管 弦 楽●創立60周年記念演奏会管弦楽団

ソプラノ●内 真奈美／バリトン●池水 成孝

入 場 料●大学・一般 2,000円
高校生以下 1,000円 **【全席自由】**

※未就学児の入場はご遠慮ください。

プレイガイド●十字屋クロス・山形屋

チケットは団員、山形屋プレイガイド、十字屋クロスまたはQRコードを読みとりクレジットカード、コンビニ決済にてご購入ください。

後 援●鹿児島県・南日本放送・南日本新聞社・鹿児島県合唱連盟

※チケットについてお問い合わせは [細谷] Tel.090-3010-5968

キンボー・イシイ=エトウ (指揮)

Kimbo Ishii-Eto, conductor



アメリカを中心にヨーロッパ、アジアで活躍しているキンボー・イシイ=エトウは、今後の活躍が期待される指揮者として注目を集めています。

ニューヨーク州のカユーガ室内管弦楽団の音楽監督を2006/2007のシーズンまで7シーズン務めた後、2007/2008シーズンより2012年6月までアマリロ交響楽団(テキサス州)の第16代音楽監督として活躍。また、ベルリン・コーミッシェ・オーパー(KOB)の首席カペルマイスターとして、2006/2007、2007/2008のシーズンにおいて「魔笛」「フィガロの結婚」「セヴィリアの理髪師」、オッフェンバッハ「ホフマン物語」、ラヴェル「子供と魔法」やオーケストラ・コンサートなどで質の高いパフォーマンスを披露し、その後も客演としてKOBとの関係が続いています。

ゲスト・コンダクターとして、ポツダム室内アカデミー、ドイツ室内管弦楽団、アウクスブルク歌劇場管弦楽団、ボーフム交響楽団、ネザーランド・フィル、スロヴァキア・フィル、マンチェスター・カメラータ、シレジア・フィル、ソナユラン交響楽団、ボストン交響楽団室内管弦楽団、上海交響楽団、台湾国家交響楽団、中国放送交響楽団等を指揮しています。日本においては、NHK交響楽団、新日本フィル、読売日本交響楽団、東京都交響楽団、日本フィル、群馬交響楽団、名古屋フィル、京都市交響楽団、大阪交響楽団、九州交響楽団、札幌交響楽団、鹿児島交響楽団などを指揮しています。

キンボー・イシイ=エトウ

幼少期を日本で過ごしヴァイオリンを風岡裕氏に学びました。12歳で渡欧しヴァイオリンをウィーン市立音楽院でワルター・バリリ、さらにジュリアード音楽院にてドロシー・ディレイ、ヒュー・カンの各氏に学んだ後に指揮に転向しました。

1992年より小澤征爾、マイケル・チャーリー、小松長生の各氏に指揮法を師事し、マネス音楽院にて楽曲分析及び作曲法を学びました。1993年、1995年のタンブルウッド音楽祭に奨学生として参加し、グスタフ・マイヤー、レナード・スラットキン、デイヴィット・ジンマン、サイモン・ラトルの各氏に師事しました。1995年、デンマークで開催されたニコライ・マルコ国際指揮者コンクールで入賞しました。

1996年から98年まで、ボストン交響楽団とニューヨーク・フィルの定期演奏会、及びタンブルウッド音楽祭にて小澤征爾、サイモン・ラトル、ベルナルド・ハイティンク、ジェイムズ・コンロン、アンドレ・プレヴィン各氏の副指揮を務めています。現在、2009年4月より大阪交響楽団主席客演指揮者、2010年12月からドイツ・マグデブルク劇場音楽監督を務めています。2010年「第9回斎藤秀雄メモリアル基金賞」指揮者部門を受賞。賞金は、次世代の音楽家育成に貢献したいという当人の意向により、ジュニア・フィルハーモニック・オーケストラに全額寄付されました。

ご両親の留学の関係で幼児期を鹿児島で過ごし、母親が鹿児島大学在学中にポリフォニー・コールに在籍していたというご縁から、今回の指揮を快く引き受けいただきました。



医療法人
松田ウイメンズクリニック
不妊生殖医療センター

MWC Matsuda Women's Clinic

女性には妊娠適齢期・出産適齢期があります
卵子は胎児期に700万創られ、胎児期から急激に減少します
排卵が始まる時期には既に30万になっており、年齢とともに
更に減少し続け、50才前にゼロになってしまいます
また、胎児期に創られた卵子は年齢とともに老化していきます
加齢とともに女性の妊娠する力は確実に低下していきます
不妊予防のためにもしっかりとご自分のライフプランを！

年齢による卵子数の変化

